閣僚、兩院議員に **酒饌を御下賜**

七日開院式を駆行したが 始め重要法案を決定して二十

質は非常時下の朝年度優算を【東京電話】第七十三帝國議

午前十一時五十分宮中正殿に により柳林一荷並に安魚一折 「最とたずもので、左の如き順序

日本最近配合計の競技品有限

までの全國各地を打つて一丸と

よ諸政策を重得

光づ専任厚生相を決定

開院式舉行さる

無義派き改果を収めた第七十三一一時登抜院において発行された、「られて、近衛首相以下全職僚、松」

て議會終了

唇を牽騰するの光榮を掘ります。我に勤命を奉じて閉院式の効語 合隣に式場に監列、かく

整装にて春院。午崩十時五十分最

案成立迄

けて具體的機能に入ってからに無 既院修正に對する實際應答に終始して小委員會は七時手一具体感じ 二、午後二時五十分小委員會公設 に右の總過を報告して承認を示め 小委員はそれとく自派に属り幹事 一方政府は、八時四十分院門に

殿殿臨時「つばめ」で名古屋 漁莊を辭し同十一日三十八分辞版 前墺首相公判

グ空相は、一十六日午後ウインにお いてドイツ・オーストリア合邪に に附されん

新入學生募集 町機洞公 京城商業實習 京城商業

日曜日氣配

◆先石郡治氏(江原道忠漢課長) 日范穏河事代理として「日支納駐元山副領事張義信兵」 廿

大地玄黄

ドアップを期したさもの

手等々積極的活動を促すべきであ一朝鮮山、保管と重複の形にあり、

の歴真論歴、暫建ベルプ工業の音 が統御或は木炭統都、副茶生走品

維林に要する苗木の栽培、及び之 | 笛時の 道物た る財際法人 の道田

林舎が京畿道を初め全層、全北、

幾何に依る指導のみに止まらず、

ア並に用林養源の不足に依つて毎一

々術感ざれるに至ったが、之とず

|あるが、駐顛法人である関係上は、向にあるので之を行って、丸とし、り民間自體の造株実向事業での他| |中華重要、各道に支部を設置して「く、却つて此種自秘食が豪達の何」に乗出さしめ、以てその各会によ

即も現在の朝鮮由林會は大正一等の事業に手が出せるので成績良し、蛯蘩法人に改組して各種事業

積極的乘出し要望さる

林會改組論

未だ一年中足らず。もら船腹

裏間も何だか既先きが利かに

題をつき、水井遞相語

「果京電話」農果局數是五能二點沒

は武部六藏氏か

を統合する朝鮮油脂の療質

對支經濟寓務總長

民政議員總會

府では何氏に對しては若政の對支

一覧が變つてゐたのもすつかり適つ

いと全く常態に復し咽喉の炎症に

の後經過良好で二十七日朝は煙温 【興津電話】 西園寺公の風邪ける

園公風邪快癒

勝名博士は午前十一時十分を 二歲、五〇間同十六歲、四〇間同五十四歲、一五〇間同五十四歲、一五〇間

◆土屋大佐 二十八日午後二時四 が破内地へ (日本自動車刷計

◆谷口賢三郎氏(同常務取締役)

電鉱の旅客洪水、季節的暑間

平々増加し行く旅客敷に備へ

第中、株職の 中三部隊に対してそ 十一時よりかつては抗日の大本山 、推興に対ける在資が非常に多々の武職を関てた辞書車の訴訟部 この歴史的成立の大衆は同日中旬 が旺盛たりしことへの武職を関すた辞書車の訴訟部 この歴史的成立の大衆は同日中旬 が旺盛たりしことへの武職を選出した。前して を示してある。右は東京に登記は世代戦争に続い解するけることとなった。前して を示してある。右は東京に登記は世代戦争に対してという。

に貧塵すべき根本方針につき指示

数初二七一五〇 連重八八 大河九三八〇 東新一六六 朝鮮油脂が 七社ご合併

金一千円世紀人探り大懸賞っき 突如文壇に大波紋を起した人 危射機の **尼岛等**安部、新 お古無鐵砲帳 たいでは、 英語の家とめくる前性な地域、地位を教を入る。 英語の家とめくる前性な地域、地位を教を入る。 という は果して誰か? 大戦地、是文の献目蟠星として、文を物門を一代したおり 電場問公會 面白いく一到る。 大気花形十七氏出場 つの愛人 の工人郎。嘉美 の一世に

林關係團體を統合 終了の間を重動で凝土の手段さを「質局との間にこれが支揚方法につ」大国客を譲すること、なったにより業内を東北的漂力なく誤官」にので、外務省でに海軍、大松南「て今郷中にアメリカ政府に対して で整内することとなったが、都合「土陶鋼」の要本金額を連告。來つ 【東京電話】近衛首相は二十七月 | 乙雄野路貨機第二百二十一四日 | 計技術上の問題について三名間に 育識階上協議委員よりこれを 中間難となった酸医能食能法 て正式政府の筆酒表示とし、 府に即連携物及び免債事件に関う一定、目下右金額の支出に闘うる管 五線に握する影響成立、難くを選一八時半三度開いて安徽業を正式社 謎ぎれてゐた會社法率と経事第十一野協力の質が結ばれ、小委以會は 水井連相、質量繊相の出席を求め一立した 議會に報告し、逆に政府が明確す 前四時半に至つて前日来最も騒回 原理をもつて振儀を進めた諸果、 全額を承認 日附公文を以て帝國政 雅全報を承認することに 意間議を開いて河産の應重を決定

書類で奏上

香融付政正體無事

成立したる重要法案並に軍事費を含む尨大豫算案の實施を見る事となつたが今後は益々舉國一致態勢のもとに友の好成績をもつて二十六日開幕し異様を傳へられたる政局も一應こゝに安定するに至つた、よつて政府は議會に【東京電話】非常時議會第七十三議會は一日の延長をもつて電力案を成立せしめ、政府提出議案全部通過の未曾育

日以後連日閣僚午餐會を阻き、閣内の緊密なる連絡をはかることゝなつてゐる更に三十日の定例參議會においても同樣決意を開陳しその諒解を得る筈である、尚政府は右目的のために二十八九日の定例閣議において右の如き議會後に處する政府の方針を證明、その決意を披騰して各相の協力を求めるが はかり、一方國民精神總動員に對する諧般の施策を行ふことに主力を注ぐことよなつた、從つて近衛首相は二十那事變長規戰に備へ、その善後處理の萬全を期するにあるので、さしあたり厚生大臣の専任を決定閣內の强化を

大に國家管理の具體的協議に帝に直に公布施行の手種をとる 伝条の議會通過によって選信 質施準備に着手

日までの一ケ年の機構期間にお こととなった。即ち昭和十

し東北級興電力資社の替案地域

電力関家管理準備局において無正、出資設備範閣決定五、出資設備範閣決定

電力關係法案の

閣の強化をはか

常院式終了後宮中の御都合を問つ一 議會終了の旨

ける経療調整に関する施説を行っ が、右龍茂において作城的国民 ユニック前班首相を公判に附す

▲株式 製造ひ深く買見返つて市

自動車箕伽上げの気色に、東 時代が變つたというものい

さんと各軍司令官から最高を寄た

める心は私達就後職種の手でお思 治療に軍権さんの手で、特兵の高

| は歌の女王にお頻楽の果英心さん

し、権心権を紹介しれば関邦委請 丸のやらずの雨" 百龍こんの行戶

施さんの柳の雨を出

民衆の熱烈だる要常に指揮かけら

殊勳の五部隊

のていよく「二十八日の古日を下、数を見るに、總數四十五萬のでいよく「二十八日の古日を下、駐納阿線に於ける勢能物ので、この程準備及端整備された。駐納阿線に於ける勢能物ので、こので、日本ので、これでは、

慰問演劇會 日衣の勇士

頭夫婆娑、

病院庭内の優勝をで華々しく開催 これ、プログラムは関域妓生達の

花師士敷種あり勇士をこくスゆく 五に藝を競び其他詩略、風影、浪

「愛國行進館で蔵妓芸香に薔漑、 る窓紙を総典せられ、三月廿五日で愛國行進館で蔵妓芸香に薔釈、 復総、浪 人本音階軍部から長くも上閉に置せている。 第一回として競技されたが、 総裁されたが、 のをはいる。

競者られることとなった。 全滿特產在貨

一般快晴の廿七日午後一時から

明日朝刊休み

自馬う。

議長の裁斷 一掃して明朗化した

兀山府會 山大賑ひ

添髪の母親

・良い智慎を…











準の平和と 他の大地の感激を

世界發擎特報ニユース映画 早朝割引午前十時半迄

女事》於此人、思維持

京城府南大門狙ニノー〇

女中 人用、但內地人、東坡所從各則三丁目 房 原 編 第一九八八番・八〇五四十八月、但內地人、

シイコウンより再び川

(內地同時封切)、

歌光

¥HSI KUANG

大学 (本学) 1 年 (本学) 1





油 器

一前は青地 フォサトル STATE OF THE PROPERTY OF THE P 朝の味噌汁健康の基! 0550 佐候後 大学、「丁」会、中、 正統法学十九字語・囲五行・ 関五行の選んに五十 関五行の選んに五十 増有料金行列的の事組就要 特に限り特に一側にて掲載す 特 計 品代理店者全求は共 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 16 O) e 社會式株造釀屋嶋

味美養滋























指 吉 澤 寶京城師範學校生徒

十全國院長

クルミ良優最産國

向人万は好恰いし美

の話(大) 吹奏楽画 生 大田吹奏楽画 生 大田吹奏楽画 生 大田吹奏楽画 生 大田吹奏楽画 生 八田 中 カム小僧 第三回) 北村が松・作 上 中 カム小僧 第三回) 北村が松・作 上 中 カード 上 中 コン・ボージ・ボージ・ストド 上 中 コン・ドーク・ボージ・ストド 上 中 コン・ドーク・ボージ・ストド 上 中 コン・ドーク・ボージ・ストドーク

衛三商























